

おじいさんは山へしば刈りに、おばあさんは川へ洗濯に行きました。

おばあさんが川で洗濯をしていると大きな桃が流れてきました。

「なんと大きな桃じゃろう！家に持つて帰ろう。」

とおばあさんは背中に担いで家に帰り、その桃を切ろうとすると、なんと桃から大きな赤ん坊が出てきたのです。

「おっとたまげた。」

二人は驚いたけれども、とても喜び、

「何という名前にしましょうか。」

「桃から生まれたから、桃太郎というのはどうだろう。」